

技術番号
570 ブース番号
A-47

建設副産物・発生土情報交換システム

建設副産物・リサイクル等

技術番号
570 ブース番号
A-47

JACIC
(一般財団法人 日本建設情報総合センター)



建設リサイクルの推進と事務の効率化を支援するシステム

建設副産物や建設発生土の情報を、インターネット技術を用いて情報交換するシステムです。両システムともデータの一元管理により、リアルタイムでデータの入出力や情報交換が可能であり、建設リサイクルに関する各種書類作成作業の省力化を図ることもできます。

また、視認性を高めるため工事箇所、処理施設等の位置情報をデジタル地図上に表示する機能も有しており、地図画面からこれらを検索することも可能です。

施工実績 H25年度 東北地方におけるシステム利用者数(H26年1月末現在)
発注機関(国、自治体等)26、排出事業者(施工業者、解体業者)1,266、処理業者167

●部署：一般財団法人 日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター ●TEL：03-3505-0416
●URL：http://www.recycle.jacic.or.jp/ ●営業時間：9:30～17:30 ●FAX：03-3505-0520

担当者：田山成一、赤羽善和

技術番号
571 ブース番号
A-53

ソイルセパレータ・マルチ工法

建設副産物・リサイクル等

技術番号
571 ブース番号
A-53

東亜建設工業
TOA CORPORATION



ソイルセパレータ・マルチ工法 (設備)

浚渫土砂から砂分、シルト分を分離(分級)し、建設材料としてリサイクルする技術を津波堆積物の分級に初採用

「ソイルセパレータ・マルチ工法」による津波堆積物の処理では、土砂の分級の他に、加水によって木片やビニール片、プラスチック片などが洗浄及び比重分別されます。従来の工程に、細かいがれきやごみを分別・回収する工程を新たに加え、ほぼ完全にそれらを除去することが可能となりました。分級処理後の粘土分を含んだ泥水も、凝集沈殿および脱水処理を行い、その安全性が確認されている場合、セメント処理などで盛土用などの復興資材として有効利用できます。第15回国土技術開発賞で「最優秀賞」を受賞しました。

施工実績 宮城県気仙沼市内で津波堆積物の分級の実証実験を実施

●部署：東亜建設工業(株) 東北支店土木部 ●TEL：022-262-6513 ●FAX：022-261-1338
●URL：http://www.toa-const.co.jp/ ●営業時間：09:00～17:30

担当者：鈴木 雅樹

技術番号
572 ブース番号
C-18

重金属・不溶化材 マジカルフィックス

建設副産物・リサイクル等

技術番号
572 ブース番号
C-18

住友大阪セメント株式会社



重金属イオンの難溶化による化学的吸着と細孔への物理的吸着のW効果により汚染土壌中重金属等の長期安定化を実現!

マジカルフィックスは、独自のカルシウム/マグネシウム系で従来の不溶化材料と比べ、低pHかつ長期的に安定するという特徴があり、酸・アルカリ条件下においても不溶化効果を持続します。具体的には、優れた物理的吸着能力・化学的吸着能力・長期安定性・pH緩衝能・改質性能を有しております。

施工実績 宮城県石巻市 津波堆積物 約115,000m³

●部署：住友大阪セメント株式会社 東北支店 建材グループ ●TEL：022-225-5251
●URL：http://heavymetals-fuyouka.com/ ●営業時間：09:00～17:45 ●FAX：022-266-2516

担当者：大場、中埜、石川、石井

技術番号
573 ブース番号
C-47

軽量ダクト・軽量ハンドホール

建設副産物・リサイクル等

技術番号
573 ブース番号
C-47

NETIS 中日本ハイウェイエンジニアリング東京株式会社



環境に配慮し、材料にリサイクルプラスチックを使用した、軽くて錆びないエコ製品です。

従来のハンドホール製品に比べ安価で軽量の為、人力で手軽に持ち運べ、ダクトの穴あけ等の加工を現場で容易に施工可能です。また、強度・耐久性にも優れ自消する難燃性で、リサイクルプラスチックの性質を生かした防錆・防食にも優れ、連結してケーブルダクトとしても使用できます。工事費の削減にも最適です。また、エコマーク対象製品に認定された製品です。

施工実績 岩手県北上市和賀町山口 秋田自動車道 北上西1C
岩手県奥州市水沢区佐倉河 東北自動車道 水沢1C
山形県南陽市川樋 中川トンネル

●部署：経営企画部 技術営業課 ●TEL：03-5339-1717 ●FAX：03-5339-1739
●URL：http://www.c-nexco-het.jp ●営業時間：9:00～17:25

担当者：小林 浩、伊東 剛

技術番号
574

ブース番号
C-65

NETIS: SK-030010-V

高耐久型セメント系木質舗装 ウッドクリート

建設副産物・リサイクル等

技術番号
574

ブース番号
C-65

株式会社佐藤渡辺 東北支店



**災害廃棄物の再生利用可能
耐久性があり、適度な硬さで歩きやすい木質舗装**

ウッドクリートは、建設発生木材や間伐材からなるウッドチップを使用し、セメントを結合材とした木質舗装です。初期養生後、表面を洗い出すことにより木のもつ風合いを活かした仕上がりになります。
 サイズ等によっては、災害廃棄物の利用が可能です。
 セメントを使用しており微生物による腐朽劣化が起こりにくく耐久性に優れます。
 他の木質舗装に比べ路面温度が1 0℃～20℃低くなります。

施工実績 東北地方で57,000m以上

●部署：東北支店 営業部
●URL：http://www.watanabesato.co.jp

●TEL：022-261-8761
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：022-262-8496

担当者：高畑一幸、五十嵐裕治

技術番号
575

ブース番号
C-65

NETIS: TH-100009-A

ホタテ貝殻入りアスファルト舗装 エク・シェル

建設副産物・リサイクル等

技術番号
575

ブース番号
C-65

株式会社佐藤渡辺 東北支店



**産業廃棄物の有効利用
ホタテ貝殻を再生利用したアスファルト舗装**

産業廃棄物として排出され、処理に苦慮しているホタテの貝殻を再資源化し、アスファルト混合物の骨材の一部として再生利用したアスファルト舗装です。
 舗装構成や施工方法、品質は従来のアスファルト舗装と同じで、供用後ホタテ貝殻（骨材）が露出され視認性が向上。外観的にも優れています。（施工直後ショットブラスト仕上げを行うことも可能）
 青森県認定リサイクル製品

施工実績 東北地方で30,000m以上

●部署：東北支店 製品部、営業部
●URL：http://www.watanabesato.co.jp

●TEL：022-261-8761
●営業時間：8:30～17:30

●FAX：022-262-8496

担当者：鈴木昭二、五十嵐裕治

技術番号
576

ブース番号
D-01

NETIS: KT-060055-V

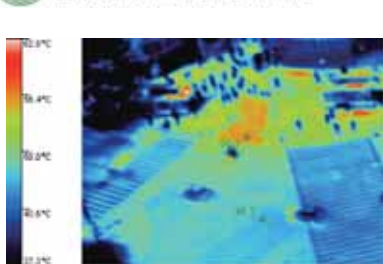
アーバンクール（遮熱型）

建設副産物・リサイクル等

技術番号
576

ブース番号
D-01

世紀東急工業株式会社 東北支店



舗装路面温度を低減し、周辺環境を改善する舗装技術

夏場の舗装表面は、太陽光で熱せられ60℃以上に達します。舗装体内に蓄熱した熱は夜間に放出され熱帯夜の原因となっています。遮熱性舗装は、舗装表面に特殊な塗料を塗布することで、太陽光の一部である熱源の原因となっている赤外線を反射させ、路面温度が上がらないようにした環境舗装です。通常の舗装と比較して約10℃の路面低減効果が期待できます。
 塗布する塗料は速乾性が高く、即日交通開放できます。
 アーバンクール（遮熱型）は、周辺環境を改善する環境に配慮した舗装技術です。

施工実績 奥羽本線秋田駅構内ホーム部受替工他2（H17.7）

●部署：技術本部 技術部
●URL：http://www.seikitokyu.co.jp/

●TEL：03-3434-3248
●営業時間：9:00～18:00

●FAX：FAX 03-5402-6866

担当者：片山潤之介

技術番号
577

ブース番号
D-02

NETIS: KT-110076-V

型枠リユースシステム リサイクルボード「型丸」

建設副産物・リサイクル等

技術番号
577

ブース番号
D-02

株式会社 長大



コンクリート建設廃材を循環型建設資源にする「型枠リユースシステム」

本システムの主旨は、使用済型枠を回収し再加工、再使用、再利用するというもので、型枠の3R+1R、ゼロエミッションに貢献し、産業廃棄物の低減に寄与するものです。仕様は、合成樹脂中空板に耐水性板紙を貼り、表面を合成樹脂フィルムでラミネートした「型丸」を覆板とし、それを使用する形状にカットし、栈木を付けて型枠パネルとします。主な特徴として、剥離剤とケレン作業が不要です。また、中空板の為に熱伝達率が低く養生環境を改善する効果が期待できます。現場へは必要な時期に必要な数を工場製作し納入しますので、製作人員、コスト及び工程の削減も可能です。メールでのお問い合わせは、ecopro@chodai.co.jpまでお願いします。

施工実績 福島地区床版工工事、大沢橋床版工工事、羅賀高架橋上部工工事、桔梗野橋上部工工事、弘川ダム天端橋工工事、八幡地区下部工工事、伊勢前地区構造物工工事、鹿又地区構造物工工事、湯川地区橋梁上部工工事、旗沢橋上部工工事、国道101号岩木川橋床版工工事、月崎栗子跨道橋上部工工事、小曲こ線橋床版工工事

●部署：株式会社 長大 エコプロダクツ事業部
●URL：http://www.chodai.co.jp/

●TEL：03-3532-8602
●営業時間：9:15～17:45

●FAX：03-3532-8632

担当者：遠藤 敦、井田 一成

建設副産物・リサイクル等

技術番号
578 プース番号
D-03

W&S緑化工法 (ウッド&シェル緑化工法)

建設副産物・リサイクル等

技術番号
578 プース番号
D-03



木材チップとカキ殻粉砕物を利用した法面緑化工法 (平成22年度地域産業資源活用事業計画認定事業)

- ・従来の厚層基材吹付工（植生基材吹付工）に対応するリサイクル緑化工法です。
- ・建設現場などで発生する伐採木・伐根の粉砕チップと牡蠣養殖業より排出されるカキガラを生育基盤材として有効利用した沿岸部の工事現場に最適リサイクル緑化工法です。
- ・カキ殻は昔からその肥料効果が認められています。カキ殻には、天然ミネラル・多種多様な微量元素が含まれていて、長期間にわたり、やさしく植物の発育を助けます。『W&S緑化工法』はこのカキ殻の特性を最大限活かした緑化工法です。
- ・廃棄物処理費用を含むコストの大幅縮減と工程、工期の短縮が可能となります。

施工実績 宮城県：平成20年度0県道改06831-A01号 出島道路改良工事
女川町：22道改第2号 塚浜6号線道路新設工事 他4件

●部署：佐藤工業株式会社 本社 営業部 ●TEL：0225-53-2365 ●FAX：0225-53-2302
●URL：http://www.satocc.com

担当者：佐藤吉宏、濱野和敏

技術番号
579 プース番号
D-03

舗装材ブロック「ウィードロック森のれんが」

建設副産物・リサイクル等

技術番号
579 プース番号
D-03



コンクリートやアスファルトと違い自然素材の木からできた 高品質木質成型舗装材ブロック

- ・森林保護のため間伐した枝等の間伐材を原材料に、木の樹脂で固化した木質100%リサイクル素材で、はじめて車両の乗り入れ基準をクリアした製品です。
- ・耐荷重5t以上にもかかわらず、環境にやさしい無公害で、熱伝導を大幅に抑えた非常に高い断熱効果とヒートアイランド現象の防止効果もありますので、駐車場や歩道、外構廻りなどの屋外での利用にも最適です。
- ・独自の成型技術により、透水性・保水性の両特性を持ち、水たまりができず、打水効果が得られます。また、15年以上の耐久性を実現しています。
- ・木の持つ本来の弾力性と特殊成型の組み合わせにより、歩行者のひざ等への負担を軽減します。

●部署：佐藤工業株式会社 本社 営業部 ●TEL：0225-53-2365 ●FAX：0225-53-2302
●URL：http://www.satocc.com

担当者：佐藤吉宏、濱野和敏

技術番号
580 プース番号
D-04

マルチスプレッド工法

建設副産物・リサイクル等

技術番号
580 プース番号
D-04

株式会社 タック



木チップの100%再資源化と「ゼロ・エミッション(ゴミ・0)」の実現を提案します。

マルチスプレッド工法は、現場から発生する伐採材や伐根材を一次破砕した木チップを利用し、切土法面・盛土法面において緑化を行う、自然還元配慮した工法です。工種は多種多様。2種類の緑化工法をはじめ、盛土の緩勾配法面においては、木チップのみを利用し、樹木の保護と法面の安定を図る法面マルチング。また法面のみならず、木チップを林間に散布して森林を整備する林間マルチングも可能です。工種によって木チップの規格を変えることなく、一次破砕された1種類の木チップを用途に応じて工種を使い分け、木チップの全量リサイクル「ゼロ・エミッション(ゴミ・0)」とコストダウンを実現します。

施工実績 東和小学校建設事業敷地造成工事/木戸ダム町道付替工事/花巻空港法面マルチング工事/
河東工業団地第1期工事/いづみ墓園第2期造成工事(1工区)/工業の森・新白河B工区造成工事

●部署：株式会社タック・営業部/株式会社グリーンアース・営業部 ●株式会社タック・TEL 054-636-1792/株式会社グリーンアース・TEL 047-318-5200
●URL：http://www.tac428.com ●営業時間：8:00~17:00 ●FAX：054-636-1793

担当者：
株式会社タック・小林
株式会社グリーンアース・堤

技術番号
581 プース番号
D-04

ウッドチップフィルター工法

建設副産物・リサイクル等

技術番号
581 プース番号
D-04

株式会社 タック



ウッドチップフィルターは様々な用途に使用可能。多くの技術提案・創意工夫に採用されております。

ウッドチップフィルター工法は、木チップには土粒子を吸着する効果がある事に注目。木チップを筒状のネットに充填し、フィルターとして使用する工法です。従来の素掘りの沈砂池にウッドチップフィルターを組み合わせる事で、現場から発生する濁水を緩和し、沈砂池の効果を向上させる事ができます。また、フィルターを透過する事で水勢が減衰され、浸食防止効果も発揮します。ウッドチップフィルターは長さの調節と移動が可能で、臨機応変に設置ができ、充填した木チップは、マルチング材として再々利用が可能です。また濁水対策のみならず、側溝脇や残土置場の周囲に敷設すれば、土砂流出対策としてもご利用頂けます。

施工実績 河東新工業団地造成工事第2工区/八木山動物公園/
いづみ墓園第2期造成工事(1工区)/三陸道道路改良工事

●部署：株式会社タック・営業部/株式会社グリーンアース・営業部 ●株式会社タック・TEL 054-636-1792/株式会社グリーンアース・TEL 047-318-5200
●URL：http://www.tac428.com ●営業時間：8:00~17:00 ●FAX：054-636-1793

担当者：
株式会社タック・小林
株式会社グリーンアース・堤

技術番号 582 プース番号 E-01 NETIS: HK-100034-A **R G 緑化工法**

建設副産物・リサイクル等

技術番号 582 プース番号 E-01

株式会社 構研エンジニアリング



家畜糞尿等から生成される堆肥を用いた道路法面緑化工法

R G 緑化工法は、余剰となった家畜糞尿等から生成した堆肥を用い、道路法面緑化（法面植生工）に活用することで、産業廃棄物を再利用した地域循環システムの構築と高い法面保護効果が期待できます。当社の実験によると断熱効果を有し、法面の凍結深度を最大2割程度軽減することがわかっています。

【適用条件】 法面勾配：4.5度以下
適用土質：砂質土、粘性土、礫質土（土壌硬度2.7mm以下）
適用可能地域：堆肥の入手が可能な地域

●部署：株式会社 構研エンジニアリング 防災施設部 ●TEL：011-780-2813 ●FAX：011-785-1501
●URL：http://www.koken-e.co.jp/ ●営業時間：09:00～17:00

担当者：五十嵐、小林、中村

技術番号 583 プース番号 F-12 NETIS: TH-050012-A **膨軟化チップ吹付工法**

建設副産物・リサイクル等

技術番号 583 プース番号 F-12

日本基礎技術株式会社 東北支店



チップ化した伐採材を膨軟化処理し、植生基盤材として利用するリサイクル緑化工法

従来は、木本チップを緑化工に利用するには、堆肥化、または客土等に生チップを混入する方法が主でした。このため、広いヤード・長期熟成が必要であったり、調整剤を混入しなければ植物の生育をコントロールできなかったなど、リサイクル材として十分な活用が図れておりませんでした。ポン菓子製造の原理を応用して、木本チップを蒸気膨軟化処理することで、高品位な緑化基盤材を安価かつ容易に利用できるように開発した工法が「膨軟化チップ吹付工法」です。

施工実績 東浦のり面緑化工事(青森県)

●部署：日本基礎技術(株) 東北支店 技術部 ●TEL：022-287-5221 ●FAX：022-390-1263
●URL：http://www.jafec.co.jp/ ●営業時間：8:30～17:00

担当者：竹中・福田

技術番号 584 プース番号 G-06 NETIS: TH-100019-A **再生骨材Mを用いたPCa製品**

建設副産物・リサイクル等

技術番号 584 プース番号 G-06

宮城大学食産業学部環境システム学科



再生粗骨材Mをプレキャストコンクリートに限定利用すれば、寒冷地でも利用可能

本製品は、簡易的破砕機で製造し、耐凍性を有する再生粗骨材Mとアルカリシリカ反応対策として混合セメントを併用したプレキャストコンクリート製品であり、路面排水溝類への利用を可能にした。これにより、現在、地下構造物のみに限定されている再生粗骨材Mが普通製品へ利用可能となる。

コンクリートガラから製造した再生粗骨材Mおよびそれをを用いたPCa製品

●部署：宮城大学食産業学部環境システム学科 ●TEL：022-245-1426

担当者：教授・北辻政文

技術番号 585 プース番号 G-08 **環境調和型機械施工システム**

建設副産物・リサイクル等

技術番号 585 プース番号 G-08

東北大学・大学院環境科学研究科・高橋(弘)研究室



建設副産物の環境調和型リサイクル処理システムと環境ジオメカトロニクス

本研究室では、環境調和型機械施工システムの創成を目指し、建設副産物の新しいリサイクル処理技術の開発と環境地盤工学への新たな展開について検討しています。さらに環境調和型機械施工システムの開発に関する研究を行っています。具体的には、次のようなテーマで研究を進めています。

①高含水比泥土のリサイクル処理技術(繊維質固化処理土工法)の開発と環境問題への応用(堤防補強盛土、緑化基盤材の作成)、②津波堆積物の再資源化による人工地盤造成、③土質改良機・モービルクラッシャーなどの環境対応建機の高機能化・知能化、④地盤調査用小口径自在掘進機械の開発、⑤粘性土と金属材料の付着メカニズムの解明と建機への応用、⑥平刃掘削による表層地盤強度定数の推定方法の開発

施工実績 名取市広浦湾における津波堆積物・ヘドロの再資源化に関する試験施工 砂押川浚渫土の再資源化

●部署：高橋(弘)研究室 ●TEL：022-795-7394 ●FAX：022-795-7395
●URL：http://www2.kankyo.tohoku.ac.jp/htaka/index.html ●営業時間：9:00～18:00

担当者：教授 高橋 弘、助教 里見 知昭